

45th ANNIVERSARY SEG

SEG® 新春対談 2026

— 社会で活躍する SEG® 卒業生 —

SEGでの多読の経験を糧に
「読書の楽しさ」を届けたい

株式会社Yondemy(ヨンデミー)は、「子どもが読書にハマる」オンライン習い事「ヨンデミー」というまったく新しいサービスを提供する注目のスタートアップです。その代表取締役を務めるのは、高校時代にSEGで英語多読を受講し、東大在学中には英語多読の講師を経験した笹沼颯太さん。恩師であるSEGの古川昭夫代表と、高校時代から現在まで語り合いました。

株式会社Yondemy 代表取締役

ささ ぬま そう た
笹沼 颯太氏

SEG代表

ふる かわ あき お
古川 昭夫氏

1981年、中高生を対象とした数理専門塾「科学的教育グループSEG(エスイージー)」を創立し、講師として今も現場に立つ。1985年から36年間、「月刊・大学への数学」に執筆。Z会数学科顧問、Y-SAPIX数学科顧問。2002年より英語多読指導の研究を始め、多読指導にも携わる。2025年国際多読学会にてMilne Innovation Award受賞。

「ヨンデミー」がサポート
読書で豊かな心を育てる

古川 笹沼さんは現在、子どもたちにオンラインで読書教育サービスを提供する株式会社 Yondemy の代表取締役として活躍されています。「ヨンデミー」とはどのようなサービスなのでしょう。

笹沼 AIの「ヨンデミー先生」のサポートと、ゲームのように楽しめるアプリによって、「子どもが読書にハマる」オンラインの習い事です。ヨンデミー先生が一人ひとりの好みや読書レベルに合わせ、その子にぴったりの本をお薦めしたり、ゲーム感覚で読書習慣化しながら、本の楽しみ方、感想の書き方を学べたりするといったサービスを提供しています。全国の図書館を対象としたリアルタイム蔵書検索と連携しているため、読みたい本をその場で予約し、最寄りの図書館ですぐに借りることも可能です。

ヨンデミーの目的は、単に文字を追うだけではなく、読書に深く取り組める姿勢と、豊かな心を育てること。メインターゲットは小学生ですが、5歳前後から15歳くらいまで、幅広くご利用いただいています。最近では学童、学習塾、小学校でも導入され始めています。

古川 子どもたちへの影響や効果はいかがですか。

笹沼 子どもたちからは「本の感想を書くのが楽しみ」「ヨンデミー先生だったら本を読みたい」など、楽しく読んでいる様子が伝わってくる感想を多くいただいています。保護者の方からは「寝る前に動画ではなく、本を選ぶようになって感動している」「親の言うことは拒んでいたのに、ヨンデミー先生のお薦めは読んでくれて、子どもの読書の幅が広がった」という声が届いています。

多読で苦手な英語を克服
原著との「出会い直し」も

古川 さて、笹沼さんがSEGに通うことになったきっかけを教えてください。

笹沼 入会したのは高1の夏で、きっかけは中学から筑駒と一緒にだった友人Iくんに「英語多読」を紹介されたことです。当時の私は英語が大の苦手で、単語や文法を覚えることに拒否反応が出てしまうくらいでした。

古川 通ってみていかがでしたか。

笹沼 高校生でも最初は *Oxford Reading Tree (ORT)* という絵本のシリーズから始めるため、なんだか幼い印象を受けました。でも、読み進めるうちに読める本の難易度がどんどん上がっていき、いつの間にか英語が苦手だとは思わなくなりました。小学生の頃に読んだ児童書の原著との「出会い直し」も楽しかったです。

古川 クラスはどんな雰囲気でしたか。

笹沼 男女を問わずに仲が良いクラスでした。SEGで親しくなった方たちとは、今でも集まる機会があるからです。ヨンデミーを共に立ち上げたIくんとSくんは筑駒の同期であり、SEGでも一緒に学んだ大切な仲間です。彼らとは大学生の時にSEGで共に英語多読の講師もしていました。

読書離れの解決に向けて
仲間3人で会社を設立

古川 ヨンデミー立ち上げのきっかけは何だったのでしょうか。

笹沼 大学2年生の夏、アイデアマンのSくんが「夏

休み中、暇だからビジネスコンテストに挑戦しよう」と、私とIくんを誘ったことです。3人共通のバックグラウンドである英語多読を軸としてさまざまなアイデアが出る中、子どもの読書離れの話題からヨンデミーの原型である「読書教育」につながったのです。中高の国語の先生が読書教育を専門とされており、「読書を教わる」経験をしていた影響もあります。

古川 みなさん、読書が当たり前だったんですね。

笹沼 はい。3人とも読書が大好きなので、子どもたちが本を読まなくなっていることに対して「この課題を解決したい」という気持ちが強かったのだと思います。また、身近でも読書離れを感じる出来事がありました。当時は家庭教師もやっていたのですが、中学受験を志す小学生に、「全教科困っている」子どもがたくさんいたのです。国語が苦手なのはもちろん、算数は文章問題になると解けない。文章が理解できないから解説を見ても分からない。その背景にある「子どもの読書離れ」の深刻さを目の当たりにした瞬間でした。

古川 ビジネスコンテストの結果はどうでしたか？

笹沼 コンテストに出したのは「日本語多読(海外の方が日本語を学ぶ手法としての多読)」だったのですが、全然駄目でした(笑)。しかし多読という手法がどんな言語を学ぶ時にも通用することは3人とも分かっていました。そこで、「そもそも母語をターゲットにした方がいいのではないか」と視点を変えてみたら、事業としてかなりしっくりきたのです。そして、大学3年になる2020年の4月に会社をスタートさせました。起業がちょうどコロナ禍と重なったのですが、振り返ってみると、会社にとっては追い風だったかもしれません。

古川 コロナ禍で一気にオンライン環境が整いましたからね。

笹沼 それ以前は、小学校でのオンライン教育はほぼ行われていませんでしたし、AIと聞いてイメージできる方も少なかったため、運が良かったと感じています。

古川 SEGで英語多読を学んだ経験は、ヨンデミーの立ち上げにどのように役立ちましたか。

笹沼 自分の経験を元に、一番重視して念頭に置いたのは「先生への信頼」です。古川先生には高2からお世話になったのですが、その頃にはSEGの先生方をすっかり信頼していました。だから、普段手に取らないジャンルの本でも「自分の好みを分かっている先生がお薦めしてくれるなら面白いはず」と思えましたし、かなり分厚いペーパーバックでも「読めるとして選んでくれたのだから読めるはず」とモチベーションにつながったことを今でも覚えています。

古川 SEGで英語多読の講師をした経験はどのように活かされましたか。

笹沼 当時は中1クラスを担当しており、中には英語が苦手なのはもちろん、読書も嫌いという生徒が一定数いました。そういった生徒にはとにかく楽しんでもらうしかない、と、本に隠されている小ネタを紹介したり、分からない言葉がある時は前後の流れや絵を見て推測できることを伝えたりしながら、英語の本来の楽しみ方を教えるようにしたのです。すると、生徒たちは楽しみ方を伝えれば楽しんでくれるのだということが肌で感じら

れるようになりました。

AIのヨンデミー先生はSEGの講師経験そのものです。生徒一人ひとりの好みとレベルに合った洋書を選ぶような英語多読講師を日本中に作るのは、難しいのが現状です。しかし英語ではなく日本語の本で、AIなら可能なのではないかと誕生したのがヨンデミー先生なのです。

マネジメント面の大改良で
利用者が一気に増加

古川 会社は問題なく立ち上げられたのですか。

笹沼 いいえ。私たちも起業に関してはさっぱり分からなかったで、「プロの投資家に話をもっていかうか」となりました。しかしなかなか理解してもらえず、取り合ってもらえないことが多かったです。

古川 いざ会社として運営し始めて、壁にぶつかったことはありましたか。

笹沼 シンプルですが、「子どもは意外と本を読まない」ということですね。ただ、SEGで講師をしていた時から、重要なのは適切な本を選んであげることと先生への信頼だと分かっていました。だからそれらを一手に担うヨンデミー先生というキャラクターを初めから導入したのです。最初はそれでうまくいっていたのですが、2年目で突然伸びなくなってしまいました。どうやら立ち上げ当初は、教育熱心なご両親が子どもの読書マネジメントをし、子どもの機嫌を取りながら本を読ませていたというパターンが多かったようなのです。そこで2022年にフルリニューアル。ゲーム感覚で取り組めるようにしたり、ヨンデミー先生に会話機能を追加し信頼度をもっと高まるようにしたりと、子どものマネジメント部分を補うためのさまざまな仕掛けをほどこしました。その成果が現れ、2023年には利用者が一気に増加しました。

もう一つ壁に感じたのは、習い事として読書にお金を払う感覚がないことです。それが当たり前になるまで、時間がかかりました。

勉強は「楽しむ」が一番大事
英語は一生を支えてくれる

古川 デジタルではなく、リアルの本を重視しているのはなぜですか。

心に広がる数学の世界を！多読・多聴で生きた英語を！

新中1英語多読コース

英語多読コースは、「英語の多読・多聴指導」と「外国人講師によるすべて英語での会話・文法・英作文指導」の組み合わせで、英語の4技能を伸ばしていくコースです。社会に出てからも使える英語力を身につけるとともに、国内での大学受験、海外の大学への進学を見据えた授業を行っています。『プレ春期講習・中1英語TPRS体験』では、外国人講師によるAll Englishの双方向の授業の楽しさを体験してもらいます。

プレ春期日程

2/8(日)・2/11(水祝)・2/23(月祝)

初心者用と中級者用を用意しています。

*詳細は右の二次元コードよりPDFをご覧ください
いただくか、資料をご請求ください。

【プレ春期講習】

新中1数学Extremeコース

数学Extremeコースは、数学を題材として、「ものごとを考える力」「アイデアを活かす力」を養うことを目的とした、独自のカリキュラムのコースです。『自ら実験し、自ら発見する』経験を数多く積むことによって、ものごとを考える力の土台を築くことを目指します。まずは体験授業を受けてみませんか？

体験授業日程

2/14(土)・2/21(土)・2/28(土)

各日9:30~

*詳細は右の二次元コードよりPDFをご覧ください
いただくか、資料をご請求ください。

【Extreme体験】

新中1生対象 入会説明会にぜひお越しください！ 1/15(木)~ 土日祝日中心に開催！ 予約制

*詳しい日程や時間、動画による科目説明などはSEGホームページをご覧ください。

*「教数道場(札幌)」が新たにSEG提携校となりました。https://sugakudojo.jp/

